

水の郷 ニュース

柳川総合保健福祉センター
「水の郷」
「水の郷くらぶ」
柳川市上宮永町 6-3 ☎ 75-6200
FAX75-6210

■開館時間 午前9時～午後9時(温泉は、午前10時～午後8時30分で入場は午後8時まで。図書館分室は午前10時～午後6時。すこやかルームは午前10時～午後9時)
■6月の休館日 月曜日



6月の水の郷シネマ
わさお

◆日時 11日(土)、午前10時30分、午後1時30分、午後4時30分、午後7時30分の4回
◆料金 前売り800円、当日1000円 ※当日券は販売中止もあり。回数券は6枚で5000円。1年間使えます。前売り券、回数券の払い戻し不可。

第9回しょうぶまつり 柳川人物歴史講演会「まほろばの里の雲龍」

雲龍久吉横綱免許拝領 150 年特別企画として、横綱雲龍の生涯について元雲龍の館館長の高口日文さんが講演。市内の相撲に関する文化遺産については福岡女学院大学講師の半田隆夫さんが講演します。また柳川雲龍相撲甚句会が相撲甚句「10代横綱雲龍」を披露します。
◆日時・場所 6月12日(日)、午後2時～(開場は30分前)、水の郷ホール

郷ホール
◆料金 無料



～柳川温泉「南風」イベント～ 日本舞踊「しょうぶ祭」



日本舞踊「泉徳弓社中」の皆さんが「しょうぶ祭」にちなんだ演目を披露します。華やかな踊りをお楽しみください。
◆日時 6月11日(土)、午後1時～
◆料金 観覧無料(ただし温泉入場料必要)

水の郷 ホール

6月の主な催し

◆柳川市市民協働のまちづくり事業 観劇会 劇団風の子九州「3ちゅう very much」 5日(日)、午後2時～、前売り料金 子ども(4歳以上)800円、大人(高校生以上)1200円(当日券は子ども、大人ともに300円増し)
【問】柳川子どもの芸術・文化を楽しむ会の鈴木さん(☎73・1775)

◆柳川青年会議所創立 55 周年記念式典 18日(土)、午後2時～、入場無料
【問】同事務局(☎73・4015)
◆カラオケ発表会 第2回 愛の輪 歌う仲間友の会 26日(日)、午前9時～、入場無料
【問】からたち友の会の田中さん(☎73・7253)

42万冊の本があなたを待っている 本は心の栄養、図書館を利用しよう



7か所ある市立図書館の総書籍数は約42万冊。DVDは約3600本で、最近では『男はつらいよ』シリーズ全49本をそろえました。絵本も約4万冊と豊富で、子どもからお年寄りまで楽しむことができます。インターネットや携帯電話の普及で活字離れがすすんでいますが、昔から「読書は心の糧」といわれ、人の心を豊かにするものとして知られています。最近では思考の訓練としても読書が注目されています。図書館に行けば、あなたの人生を変える運命の1冊と出会えるかもしれません。

■おはなし会(小学生以下)
▶本館=毎週土曜、午後2時30分～▶三橋図書館=第2・4土曜、午後3時～▶雲龍図書館=第2土曜、午前10時30分～▶昭代分館=第1・3土曜、午前11時～▶両開分館=第2土曜、午後2時30分～▶蒲池分館=第2・4土曜、午前11時～

6月の無料映画会
6月11日(土)、午前11時～=名画劇場「おとうと」(126分)、午後3時～=子ども映画「トムとジェリー 上には上がある」(60分)

図書館 ニュース

▶本館☎74-4111 FAX74-4946 ▶三橋図書館☎74-6300 ▶雲龍図書館☎76-1122 ▶両開分館☎74-4116 ▶昭代分館☎74-5111 ▶蒲池分館☎74-6200 ▶水の郷分室☎75-6204

■開館時間 午前10時～午後6時(金曜日は本館、三橋図書館、雲龍図書館とも午後8時まで)
■6月の休館日 月曜日(三橋図書館は火曜日)※30日(木)は資料整理のため全館休館
■雑誌リサイクルデー 本館=6月5日(日)、1人10冊まで。両開分館=6月12日(日)、1人5冊まで。

おすすめ新着図書

K-POP がアジアを制覇する
西森 路代 著(原書房)

アジア中で大ヒットしている「K-POP」アイドルたちはどのように世の中に送り出されるのか。この快進撃の背景を読み解けば新しい韓国が見えてくる。

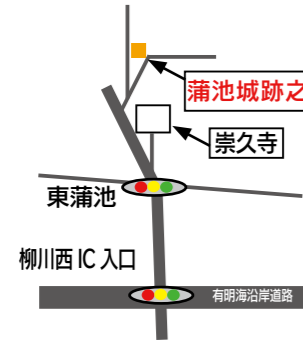
家事セラピスト、はじめました
辰巳 渚 監修(彩流社)

家事がもっと楽しくなれば生きることが楽しくなるはず。家事の専門家「家事セラピスト」が普段の家事の悩みを写真などを使って分かりやすくアドバイスしてくれる1冊です。

おめでとう おひさま
中川ひろたか 作(小学館)

無理をせず、できるところからやってみよう。いろいろな人を認め合おう。そんな著者の思いが詰まった1冊。読むと優しい気持ちにさせてくれます。

「柳川百選」は市企画課で配布。市のホームページでもダウンロード可。問い合わせは、同課(☎77・8423)へ。



蒲池城跡之碑は、昭和60(1985)年に故甲木清さんと西蒲池の地元の有志によって建てられました。崇久寺の住職の松尾正良さんによると、この石碑には甲木さんたちの「蒲池城をもっと多くの人に知ってほしい」という思いが込められています。

蒲池城跡之碑

▲十一面観音座像(左)と下部の焦げている部分(右)。南北朝から室町時代にかけての作品といわれています。焦げている部分は蒲池氏滅亡の時に、崇久寺が龍造寺氏によって焼き払われた際の跡だそうです。

蒲池城は戦国時代に柳川地方を治めていた蒲池氏の城で、蒲池鑑盛が柳川城を築城するまではその拠点だったといわれています。城跡は残っていませんが、正倉院に保管されている「蒲池家譜」によると蒲池氏は、鎌倉時代に蒲池に住みついていた武士集団のようですが、南北朝時代の蒲池城と蒲池氏の関係ははっきりしません。蒲池氏が蒲池城を拠点としたのは戦国時代に入ってからで、その後、蒲池氏は上蒲池と下蒲池の二つに分裂。柳川地方を拠点としたのは下蒲池氏です。鑑盛が当主の時に柳川城を本城とし蒲池城を出城にしたといわれています。蒲池氏は戦国大名の大友氏に従っていました。

しかし、天正6(1578)年の日向国耳川合戦で大友氏が敗戦すると、大友氏を離れて龍造寺氏に従います。ところが天正9(1581)年、鑑盛の子鎮連は柳川地方を狙っていた龍造寺氏のだまし討ちを受け命を落とし、柳川城も攻め落とされ下蒲池氏は滅亡します。蒲池氏の滅亡後、立花宗茂の時代までは蒲池城が確認できますが、田中吉政の時代になるとその名は見えず、蒲池城は歴史上から姿を消してしまいました。

蒲池城跡之碑 西蒲池

蒲池城は戦国時代に柳川地方を治めていた蒲池氏の城で、蒲池鑑盛が柳川城を築城するまではその拠点だったといわれています。城跡は残っていませんが、正倉院に保管されている「蒲池家譜」によると蒲池氏は、鎌倉時代に蒲池に住みついていた武士集団のようですが、南北朝時代の蒲池城と蒲池氏の関係ははっきりしません。蒲池氏が蒲池城を拠点としたのは戦国時代に入ってからで、その後、蒲池氏は上蒲池と下蒲池の二つに分裂。柳川地方を拠点としたのは下蒲池氏です。鑑盛が当主の時に柳川城を本城とし蒲池城を出城にしたといわれています。蒲池氏は戦国大名の大友氏に従っていました。

柳川百選まち歩き 第27回